

## 観光ガイド部



国際観光都市神戸の街の中を走る、シティーループバスに乗車した本校のアメリカー人英語教師が、車内アナウンスが日本語だけだったことに驚き、その感想を後日、学校で話してくれました。そのことがきっかけとなり、神戸交通振興株式会社から、ガイドさんが英語での観光案内を練習するテキストとCDの製作を依頼されました。テキストの原案は、観光ガイド部が作り、英語教師のファーガス先生が監修しました。



続いて、英語と日本語が併記された指差しマップ（運行路線図）の英語版の作成も依頼されています。完成が待ち遠しいです。

### 1. 忘れられない

1月17日（火）に震災追悼の集会在、中庭で開催されました。校長より、震災当時の被害の状況について説明がある者は、この震災のことを『伝える』『活かす』『備える』ことが、大切な義務である。」と訓話されました。また、本校の図書館には、震災関係の特設コーナーが設けられており、約380冊の書籍が展示されているので、是非とも読んでみようで紹介されました。



続いて10時より、神戸市シェイクアウト訓練が行われました。前日の1月16日（月）には、硬式野球部員が14年前から続いている震災ボランティアに、今年も参加してくれました。ボランティアの内容は、震災犠牲者と同数の竹灯籠を設置し、鳥取県から運ばれてきた雪で、地蔵を作るといふものでした。17日の朝に、前日準備した雪地藏などの状態を確認しに、野球部顧問が訪れてくれました。すると本校生徒が、22年目を祈念して、作った22体の雪地藏に、手を合わせて祈っておられる老夫婦とお孫さんの姿を拝見したそうです。

寒くて冷たい中での作業でしたが、とても価値のある奉仕作業をやっていることがわかり、心温まり嬉しく思いましたと報告してくれました。

## 新しい留学生

次年度の留学生が決まりました。コナー・アーペン君、男性です。オーストラリアから、約10ヶ月の予定で来日します。現在、ホームステイする期間のすべてが決まっているわけではありません。10ヶ月のうち1ヶ月でも、何ら支障はありません。留学生との親密な触れ合いができるので、英会話力向上や、自宅にいなながらの異文化体験や、卒業後のオーストラリア訪問などを考えると、お互いに有意義な時間になると思いますが、いかがでしょうか？ お問い合わせは、教頭先生までお願いします。

**ちょっと一言** 思春期は、あらゆるものが急成長する時期。成長の速度は、身体の各部分や心理面においてもまちまちです。よって、心身ともに不安定な時期といえます。そのアンバランスさも手伝って、保護者の方に無礼、非礼な言動を取ったことが多かれ少なかれあるのではないのでしょうか？中国の南北朝時代の梁武帝の著した「孝思賦（こうしふ）」の中に、慈烏反哺（じうはんぼ）という言葉があります。烏（からす）は、幼い時に親が口移しで餌を与えてくれた恩を忘れず、老いた親に口移しで餌を与えるとの意味です。烏も親孝行するのです。烏に負けぬよう、恩返しの機会を考えてみよう。